

2022.05.01. 憐れみ深く慈悲深く

ヤコブの手紙 2 章 10～13 節

JD ファラグ牧師

今朝は、ようこそお越しくださいました。オンラインの方も、ご参加くださり本当に嬉しいです。「ヤコブの手紙」を一節ずつ学んでいます。今日の聖書箇所は、2 章 10 節から 13 節です。ここにおられる人で、可能な方はご起立ください。ご無理な方は、座ったままで結構です。ヤコブが聖霊によって手紙を書いています。10 節から読みます。

## ヤコブ 2

10 一律法全体を守っても、一つの点で過ちを犯すなら、その人はすべてについて責任を問われるからです。

11 「姦淫してはならない」と言われた方は、「殺してはならない」とも言われました。ですから、姦淫しなくても人殺しをすれば、あなたは律法の違反者になっているのです。

12 自由をもたらす律法によってさばかれることになる者として、ふさわしく語り、ふさわしく行いなさい。

13 あわれみを示したことがない者に対しては、あわれみのないさばきが下されます。あわれみがさばきに対して勝ち誇るのです。

祈りましょう。よろしければ一緒にお願いします。

天の父なる神様。今日、私たちに与えられた聖書箇所、あなたが私たちに示したいと願われることを理解するためには、聖霊の助けを与えていただく必要があります。

主よ、すべての御言葉は、理由があって聖書の中にあります。ある時は矯正と戒め、ある時は励まし、またある時は叱責です。そして確かにこれは、そういう箇所の一つであるように思われます。だからこそ今日、私たちの教師であり導き手である聖霊が必要です。聖霊が私たちの注意を引き、保ってください。それは私がするものではありません。今日、私たちの前にあるこの箇所で、あなたが私たちに伝えたいと願っておられることを見逃さないようにするためです。

主よ、私たちは御言葉の中で共に過ごす時間をあなたに委ね、あなたがなさろうとしておられることに前もって感謝します。イエスの御名によって。アーメン、アーメン。

ご着席ください。ありがとうございます。さて今日は、憐れみ・慈悲について、人に対し憐れみ深くある大切さについてお話ししたいと思います。また出ましたね。ヤコブが例のごとく、聖霊によって、慈悲に関して、まさに真正面からことわざのように釘を刺します。そして、他人を憐れむことが最も重要な理由を3つ以上挙げます。すなわち、私たちは皆、それを切実に必要としていること、それによって報われること、そしておそらくもっと重要なことは、私たちはそれに従って裁かれるということ。

それでは、私たちが憐れみ深くある絶対的な必要性から始めましょう。10 節～11 節です。ヤコブは、偏愛の罪がいかに律法で有罪となり彼が今語った通り、律法によって罪を示し、いかに私たち全員が律法違反で律法全体を破る罪びとなのかを強調します。ちょっと待ってください。「律法全体？」そうです。

「いえ、律法1つを破っただけなんですけどね。」いやいや、そうではないのです。律法全体です。どういうことですか？ これは非常に重要なことで、律法を破った者/罪びとは、救い主が必要だという原則を語るからです。私が今まで聞いた中で最も良い説明は、鎖のリンクを1つを壊すと、鎖全体が壊れるというものです。「ええ、でも私はただ...私はそのリンク1つを壊しただけですよ。」ええ、でも鎖全体が壊

れてます。それが律法と同じです。だから「あの戒めは破ったけど、他の戒めは破っていない。」というのは許されないんです。「ああ、でもきっと神が許してくれるよ。」ええ、あなたがしたのは、律法を全体を破ったのですよ。何がポイント？ なぜヤコブはこのことを強調し、言わば、口うるさく語るのでしょうか？ その理由は、ヤコブは私たちが皆、律法を犯す者だと立証する必要があるからです。私たちは皆、神の掟を破りました。1つでも破れば、全部破ったことになります。どの戒めかは関係ありません。あなたは律法を犯す者。だから神の憐れみがどうしても必要です。私たちは祈りますよね？「神様、私を憐れんでください。」「ええ、わたしは、あなたを憐れみます。」しかし、「しかし」があります。「あなたはまず、自分が、憐れみを必要とする者であることを認識しなければなりません。」なぜ私は、憐れみ必要としているか？ 私が神の律法を破ったからです。「私はあなたの慈悲に身をゆだねます。」そうすることで、いわば土俵を平らにするのです。「そうすれば、わたしはあなたを見ません。」特定の誰かを見ないよう気をつけなければなりませんね。「あ！私を見ている！」と、思う人がいるかもしれませんので。ですから、下を見ます。-(笑)- 私は、言い方はマズいですが、あなたを見て、あなたの方が私より罪深いと思ってしまうことがあるのです。だって、私はただ、その...「私は、このことで有罪だけど、あなたは、あのことで有罪でしょ！！」しかしヤコブはこんな感じです。「違う。そんなことでは済まされない。あなたは彼らと同じように憐れみを必要としています。なぜなら、私たち誰しもが、律法を破る者なのです。」では、それを立証したところで、憐れみについて話しましょう。

2つ目です。12節、私たちは、その分報われます。私たちは、どうしてもそれが必要であり、しかし、その分報われるのです。それをヤコブが次に語ります。彼がここで語ることで、非常に興味深いのが、理由はたくさんありますが、少なからず、まだ他に律法があります。その別の律法は、自由を与える律法です。「お～これって別の律法なんですか？」そうです。これは何の律法ですか？ これは、すべての信者が裁かれることになる律法です。待って、何ですって？「私たちは裁かれるのですか？」そうです。キリストの御座の裁きです。白い大なる御座の裁き、キリストの裁きの座です。どうか信じてください。皆さん、もう1つの方には行かないほうがいいです。この裁きの方がいいですよ。この裁きを、スポーツイベントで表彰される場面で想像してください。キリストの裁きの座とはそういうものです。それが裁判官によって裁かれる律法で、私たちが行ったことに応じてイエスが報いて下さるのです。これが「第二コリント人への手紙5章10節」にあります。使徒パウロが書いてます。

## II コリント 5

**10 私たちはみな、善であれ悪であれ、それぞれ肉体においてした行いに応じて報いを受けるために、キリストのさばきの座の前に現れなければならないのです。**

なぜこれが重要なのでしょうか。なぜなら、私たちが神の御前に立ち、この地上にいる間に行ったことに従って裁かれる日が来るからです。第一コリント人への手紙3章を神に感謝します。この火が下り、肉において行われた全てのことが、焼き尽くされるからです。しかし、もう1つ積み重ねがあり、私たちが行ったすべてのことが報われます。その報いは、同じ火によって、より価値の高い貴重な宝石になります。つまり、この時、私たちは報酬を得るのです。この箇所を教えることを想定して考えていました。告白すると、この単純な真理について考えるたびに、私はただ、啞然とするばかりです。その理由は、私たちのこの人生は、とても短いです。70年程としましょう。俗に言うスリー・スコア・テン＝人生70年です。議論の目的で、この人生は、70年あるとしましょう。その70年が終わった時、すべてのファイルが閉じられ、その期間に何をしたかが、限られた時間ではなく、永遠でどう過ごすかを決定するのです。

今、歯車が回る音がなんとなく聞こえてきます。特に、処理しないとイケないからキーキー鳴っているのがありますね。ではあなたが仰っているのは、、分かりました70年として、その間に何をしたかで、私の永遠が決まるのですね。わあ～！なんと一方的なんでしょう。さあ、もう忙しくした方が良いでしょう。だって私は、今年で60歳です.....一涙一 主よ、早く来てください。主はもう来られますよ。しかし、時間は残り少なく、そのわずかな残った時間にも永遠に投資することができます。イエスは「マタイの福音書6章」で仰いました。「自分のために、天に宝を蓄えなさい。そこでは虫やさびで傷物になることはなく、盗人が壁に穴を開けて盗むこともありません。」「なぜなら、あなたの宝のあるところにあなたの心もあるからです。」(マタイ 6:20-21)

ある人がいみじくも言いました。『すぐに一つの人生が過ぎ去り、キリストのために行ったことだけが残る』ですから私たちは裁きの席に座り、2つの山(積み重ね)を見せられます。主のためにしたこと、王国のためにしたこと、永遠のためにしたこと、そして肉においてしたこと。その積み重ねは、燃やすのに少し時間がかかりそうですね。(笑) そんな霊的な目で私を見ないで下さい。皆さんの積み重ねの山も大きいですって。それが全部焼かれるのです。でも、ここに来て思うのは、あっちの山にもっと積んでおけばよかった。なぜなら、今となっては遅すぎます。永遠の全てが、私が主のためにしたこと、主の王国を促進するため、永遠のため、永遠の光の中で行ったことが前提だからです。その積み重ねた山は、もっと大きいはず。そして永遠に、私はそれに見合った報酬、報いを受けるのです。パウロは聖霊によって、良いことでも悪いことでも報われると、注意深く言っていることに注目ください。あ！ 良いことだけならいいのに....例えば、オリンピックのようなスポーツイベントの審判。審判は、あなたがレースを終えた後、審判席に座っていて、あなたに点数をつけます。パウロはそれを王冠と呼び、比較します。優勝者に贈られる花輪です。花輪は長持ちしません。そしてパウロは言います。「彼らは、朽ちる報酬のために、あらゆる節制をします。私が言っているのは、永遠に続く報酬、王冠のことで、それは、私がこの地上で行ったことに基づきます。」(Iコリント 9:25 参照)

冷静に考えれば、私はいつもこのことに納得させられ、啞然とします。70年を、永遠と比較して想像してみてください。言い換えれば、今知っていることをあの時知っていたら、あの時違ったことをしていたでしょう。今知っているのだから。私は今、永遠の中にいます。私が何をしたにせよ、それが私の永遠を決定します。永遠がどれほどの長さか知っていますね？ 意味深ですが、、永遠です。永遠は永遠に続くのです。ヤコブは、私たちがここでお互いにどう接するかによって、永遠に天国での永遠が決まるという、この基本原理を確立しているのです。これが残りの時間を費やしたい3つ目の原則につながります。これが必要なので、できるだけ時間を短縮したかったのです。13節にあります。「私たちはそれに従って裁かれる。」ヤコブがここで語る「憐れみに比例する」ということの重要性は、いくら強調しても過ぎることはないでしょう。憐れみが裁きに勝るという事実によって憐れみを示さないで裁く者は、憐れみを与えられません。お付き合いください。つまり、私が他人を裁き、憐れみを示す尺度が、私自身を裁き、憐れみを与えられる同じ尺度に使われます。説明しましょう。私は測定用計器...言わば、リトマス試験を持っています。これであなたを測り、判断し、あなたに憐れみを示すかどうかを決定します。これは、私の憐れみメーターです。そう呼んで良いですか？ え、そうなの？ それが、他人を判断する測定器なの？ その測定器を見せてください。それが、わたしがあなたを裁く測定器だからです。お～ちょっと待ってください。再確認してみましょう。あなたが言いたいのは、私があなたに憐れみを示す尺度が、あなたが、私に憐れみを示す尺度になるということですか？ はい、そうです。お～それって一変しますよ

ね。はい、そうです。そして、これがここでヤコブの語る全要点です。聞いてください。皆さん祈りますね。私は祈ります。「主よ、どうか私に憐れみを」あら、そうなの？ そして案の定、メールが来ました。God@gmail.com から。-(笑)- お～皆さんにも来ましたか？ しかも、添付ファイルがついていて巨大なファイルです。それは、私が他人に憐れみを示さなかった時の全記録です。神はこんな風です。「あなたは憐れみを求めるのに、あなた自身は、憐れみを示しません。実際、あなたは憐れみを示さないばかりか、ただ批判をし、裁いたのです。あなたの裁きに、憐れみはありません。」

「ルカの福音書 6 章」を見て頂けますか？ 36 節から読みたいのですが、その理由は、おそらく、聖書の中で文脈を外れて最も誤用されている聖句の 1 つだからです。かなり強い言い方で、この箇所を紹介しますが皆さんきつと、お金を与えるという文脈としてこれを聞いたことがあるでしょう。お～これは、多くのテレビ伝道師が好んで使うお決まり箇所です。「もしあなたが与えるなら、、、あ～実際、そこにいる人、、、」これを見たことありますね？ これ、お金じゃないんです。憐れみです。そういう文脈です。イエスが仰ったことを聞いてください。

#### ルカ 6

**36 あなたがたの父があわれみ深いように、あなたがたも、あわれみ深くなりなさい。**

**37 さばいてはいけません。そうすれば、あなたがたもさばかれません。」**

これは大ごとなので、ここで止めます。「私を裁かないでください。私を裁くのは、あなたではありません。」裁かないということは、判断力を持たない、のではありません。私はあなたを裁いていません。ある人が言ったように、私はあなたの実を調べているのです。私は見て、ここに実がないと判断しているのです。それは、人を裁くこととは違います。というのは、イエスがこのことを仰った後、あとで読み終わりますが、イエスがこのことを仰った後、次に「あなたは偽善者だ」という非常に有名な言葉を語られます。「あなた自身、自分の目にある梁が見えていないのに、兄弟に対して『兄弟、あなたの目のちりを取り除かせてください』と、どうして言えるのですか。...偽善者よ。(ルカ 6:42)

あなたは他人を裁き、評価してくせに、憐れみがない。あなたはすぐに裁く。判断とは違う。あなたが使っているメーター、他を判断するために使っているこの測定器は、あなたが判断されるのと全く同じメーター、測定器なのです。そして、イエスはこう続けられます。

#### ルカ 6

**37 さばいてはいけません。そうすれば、あなたがたもさばかれません。**

私たちはとても批判的です。私たちは、すぐに裁きます。私たちは、全然憐れみ深くありません。私たちは、慈悲深くされることを望みますが、豊かな恵みを誤って理解しているのでは？ 私たちは他人に対して慈悲深いでしょうか？「ヤコブの手紙」を終える前に 慈悲とは何かを理解するのに役立つ良い機会かもしれませんね。私たちはしばしば、恵みと憐れみを一緒に使います。当然ですね。なぜなら、ある人が言ったように、恵みとは、神が私たちにふさわしくないものを与えてくださることであり、憐れみとは、神が私たちにふさわしいものを与えられないことだからです。皆さん私同様なら、そうだと思いますが、私には、恵みと憐れみの両方が必要です。恵みと憐れみ。さて、ここで問題があります。それは、あなたは憐れみ深くないからです。あなたは憐れみの心が必要です。憐れみ深いどころか、非難し、裁き、無慈悲で、赦しません。それが次に仰る

**...赦しなさい。そうすればあなたがたも赦されます。**

#### ルカ 6

38 与えなさい。そうすれば、あなたがたも与えられます。詰め込んだり、揺すって入れたり、盛り上げたりして、気前良く量って懐に入れてもらえます。あなたがたが量るその秤で、あなたがたも量り返してもらえらるからです。」

皆さん、この箇所をお金の文脈で聞いたときのことを思い出しますか？「与えよ、さらば与えられん。詰め込んだり、揺すって入れたり、盛り上げたりして...」（これはお金の文脈ではなく）憐れみの事です。これは憐れみです。「なるほど、慈悲深いんですね。」私は、あなたが示した憐れみの秤を、叩いて、詰めて、揺り動かして、もっと入るように、そして、溢れるほど入れて、あなたの上に注ぎ返します。なぜか？自分が使う尺度が、自分に使われる尺度となるからです。これで、すべての様相が変わりませんか？ そのはずです。もう一步踏み込んでみましょう。私が誰かに憐れみを示すとき、私が言っているのは、それが私が神の憐れみを受ける時でもあるということです。私自身が憐れみを受ける側あったからこそ、今度は、私があなたに憐れみを示せるのです。先週も少し話しましたが、今週はこれに時間を費やしたいと思います。それが赦しと深い関係があるからです。「憐れみと赦し」「赦しなさい、そうすればあなたがたも赦されます。」に注目してください。待ってください。それは私がどうやって赦すかに比例して、私も赦されるということですか？ そうです。ちょっと待ってください。つまり、もし私が赦さなければ、私も赦されないということですか？ そうです。私が憐れみを示さなければ、私も、憐れまれないのですか？ そうです。実はもっと酷いんです。私が裁き、非難するならば、私も裁かれ、非難されることになります。聞いてください。よく言われる通り「自分が持っていないものは、与えることはできない」のです。私は、特権で説教壇に立つ前に、自分の教えを T-A-L-L-Y という頭文字をとってタリー/照合しています。まず T-A-L-L-Y の「T」= Truth/真理・真実「私の教えは、正しいか？」偽りではない、真実。T-A-L-L-Y の「A」= Accurate/正確か？ 私は正確なのか？ そして、T-A-L-L-Y の最初の L。「L」= liberating/自由にするのか？ 人々が重い歩みで負担になるなら、主の命令は重荷ではありませんから主からのものではないのです。あなたを自由にするとき、それが真理なのです。実際、私にとっては、真理を聞いたかどうかを知るためのリトマス試験紙です。自由の法則でしょうか。私は.....それで解放されたのか。または、この重い旅をさせられているだけなのか。主の命令は、重荷ではないからです。このことは、この後のヤコブ書にも出てきます。上からの知恵は、まず純粹であり、次に平和的であり、穏やかであり、そして、人に慕われやすいものであると言っています。重い旅のようなものではありません。イエスは言われました。

「わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからです。」(マタイ 11:30)

重く、重荷を負わされたとき、それは、主からのものでないのが分かります。解放されるか？ T-A-L-L-Y の 2 つ目の L、これが重要なのですが、「L」= Love/愛「愛があるのか？」です。確かに私たちは、愛をもって真理を語る必要がありますが、愛するがゆえに真理を語るのです。私たちは言うべきことを言うのに、愛がなければならぬだけでなく、たとえ相手が、それを受け入れないとしても、愛しているからこそ、言うべきことを言わねばならないのです。これは「箴言」に、、、その一つというか....まあ、全部なんですけどね。自分が壊す原理ではなく、自分が逆らうと壊れる原理なのです。「箴言 (27:6)」にあります。「愛する者が傷つけるのは誠実による。憎む者は多くの口づけでもてなす。」言い換えれば、もしあなたが本当に愛しているなら、たとえそれが傷つくことであっても、あなたは私に真実を話すはず。実際、愛していないのなら、そうはしません。自己愛から、あなたは、私が聞く必要のあることではなく私が聞きたいことを話すでしょう。本当に私を愛しているならば、私に本当のことを話してくれ

るでしょう。だから、妻は本当に私を愛してくれているんだなあと思います。(笑) 大変正直に話しますからね。話は逸れましたが、皆さんポイントが分かりますか？ ここでヤコブがしているのは、そういうことです。愛がゆえに、愛を持って真実を語っているのです。そう、初めは心が痛みます。「痛っ!」しかし、最終的には、「ふ～、ありがとう。」どういう事か説明します。初めは、愛の中にある真実は痛みを伴います。恨むかもしれません。でも、最終的には感謝します。逆に言えば、お世辞や多くの口づけで、私が聞きたいことだけを話すと、初めは、本当に感謝します。「まあ! どうもありがとう。もっと言って～」しかし、最終的に憤慨します。なぜか? 「なぜ何も言ってくれなかったの? なぜ私に教えてくれなかったの? 私を気にかけてなかったの? それを教えてくれるほどは、私を愛していなかったの? なぜ何も言ってくれなかったの? あなたは私にこれを教えてくれなかった。あなたは私を愛してはいなかったんだ。」それが真理です。私はあなたを愛していません。少なくとも自分自身を愛するほどは。それが自己愛と呼ぶものです。私はあなたを愛するよりも、自分自身を愛している。あなたを傷つけ、あなたが私を嫌うと分かっているから、あなたに真実を伝えることで、私たちの友情を危うくしたり、危険にさらしたくはなかったのです。すぐに家に帰って、SNS で私を友達から消し、ブロックしてしまうだろうから言わなかったのです。それは愛ではありません。愛ではないのです。私はこれを言います。愛を持って、できる限り愛を持って言わねばなりません。これはおそらく、神の御言葉の中で最も、、、最もではないにしろ、神の御言葉における不従順の真理です。同じことを別の言い方で言ってみます。これを見て分かるのが一目瞭然です。それが問題なのです。自分の結婚生活もこれで説明がつきます。自分の家族、子どもたち、職場、そして教会、特に教会で起きていることを物語ります。慈悲を差し控え、慈悲を裁きと非難に置き換え、赦しを差し控え、すべては、いつのまにか私たちが神の掟を破ったことを忘れてしまっています。私たちは誰しもが、慈悲を必要とする罪びとです。私たちが受け側になって…。つまり「アメージング・グレース」と言い、歌ったところで、全く歯が立ちません。アメージング・グレース! 恵みを定義してみてください。つまり、定義してみたところで、「そうそれは、神があなたに値しないものを与えて下さる。」

私たちは、恵みのゆえに信仰によって救われたのです! (エペソ 2:8)

私たちは受け取る側になって来て、私たちは裁かれるのに値するというのに。でも神がなさったことは? 私たちに慈悲と赦しを示してくださいました。なのに私たちは慈悲と赦しを与えないのですか? 神がそれを目に留めておられないとは一瞬たりとも思わないでください。そして、それが「ルカの福音書」に示されていると思います。このように考えてみてください。ヤコブは、救い主の御言葉を反復しています。ヤコブは、ヨセフとマリアの間に生まれたキリスト・イエスの異父兄弟ですよね。そのことを良く考えてください。神の化身の異父兄弟と一緒に成長するのって、どうでしょうか。完璧で、罪がない。ヨセフとマリアが、比較したわけではなかったと思います。それがヤコブと彼の性格を説明しています。「ヤコブの手紙」を読んだら、「おっ、この人って肩に力が入っているな」と感じるからです。私たちは彼を責められませんよ。世の救い主、神の化身が異父兄弟と一緒に育ちましたからね。ヤコブは救い主の御言葉を反復し、私たちは皆、慈悲を必要としていることを私たちは皆、赦しを必要としていることを強調しているのです。なのに、私たちがするのは? 差し控えたり、ケチるのです。ここに秤があります。「ああ、それはダメ、入れすぎ。戻そうっと。」「その秤をわたしにください。わたしはあなたに、それと同じように測ります。」「ああ、それならこっちの秤を出します。こっちの方が大きいからです。」「お～ではまずあなたが、それを使う必要があります。」OK。私たちは「主の祈り」と呼びますよね? これで締めくくり

ます。私たちはそれを「主の祈り」と呼びますが、本当は「主の祈り」ではありません。主が弟子たちに祈りを教えておられます。興味深いことに、彼らは、イエスに祈り方を教えて下さるよう頼みました。それを考えたことがありますか？ このように、神の御言葉の中には、「なぜ」という問いかけをすることで、「なぜ」の背後にある「何/事」があります。なぜ彼らはイエスに、祈りを教えてほしかったのでしょうか？ 私は、彼らがイエスが祈られるのを見て、イエスが祈られるとどうなるかを見たからだだと思います。その御力と膨大な時間、群衆やその満たされない欲求から離れ、お一人になって御父の下へ行き祈られました。そして、それを見ていた弟子たちは、その結果を目の当たりにしたのです。彼らはそこに御力を感じたでしょう。彼らはそこから生まれる奇跡を見て、それを求めたのです。興味深いことに、彼らは、私なら多分こうしていたでしょう。「イエス様、祈り方を教えてください」ではなく、「イエス様、説教の仕方を教えてください」と言ったはずです。なぜなら...気にしないでください。とにかく...一(笑)一 あらゆる助けを必要としているのです！「あなたがどうやって祈られるのか、あなたが祈られると何が起こるかを知っているので私に祈り方を教えてください。」私に祈り方を教えてください。」一分かりました。

### 『天にいます私たちの父よ。... (マタイ 6:9)』

私たちは皆んな、それを暗唱でき、知っていますね。でも、1つだけ、私の今言っていることが分かる部分があります。

### 『...私たちの負い目をお赦してください。私たちも、私たちに負い目のある人たちを赦します。』(マタイ 6:12)』

これを見て「待てよ」と思うことがいくつかあります。つまり誰かが私に負い目のある行為をしたので、私はその人の負い目を赦さない限り、私の負い目は赦されないのですね？ はい。しかし、二重の意味があります。あなたが自分の負い目を赦されたから、今度はあなたが、あなたに対して負い目ある行為をした人を赦せるのです。ですから、自分がどれだけ赦されたかを知り、認識した時、「ほ～！私は赦せる」となります。それが愛の源でもあります。先週も少しお話ししましたね。どうすれば、既に自分を愛すのと同じように、隣人を愛せるのでしょうか？ 私は自分がとても好きです。ではどうしたらそんなに愛せるのでしょうか？ 私はもう自分を愛しています。そこで、イエスはハードルを上げて、「すでに自分を愛しているのと同じように、隣人を愛しなさい」と仰られたのです。(マタイ 19:19 参照)

あなたが彼らに対して抱く愛が、あなたが主から受けた愛だと理解する迄は、ちょっと無理な注文ですね。それが源です。あなたに慈悲を与えます。その慈悲をどこで見いだせばいいのでしょうか？ その源は、主が私に与えてくださった慈悲です。私はあなたを赦します。その赦しを見出す源はどこにあるのでしょうか？ 主が私に与えてくださった赦しです。慈悲、赦し、愛。そのリストを好きなだけ見ていきましょう。それが方法です。聖霊がどうやって聖なる御言葉を行われるかです。締めくくると言いましたが、OK。これが最後の最後、最後の締めくくりです。言わば、これこそが責任で、他人との関係で抱えている問題の多くは、この点に起因すると思います。全ての層を剥がすと、こうなります。家庭内、夫婦間、家族間、人間関係のすべての争いは、これに帰結します。「慈悲深くあれ。あわれみ深く。」それって、、ここで質問です。私自身への質問です。もしあなたがそうするなら、誰かに慈悲を示すとしたら、あなたの状況はどう変わるのでしょうか？ 自分のお決まりではなく。お～、あなたはすぐに批判し、判断し、非難し、見下したりします。言え言え言うほどどうなり声がひどくなります。一(笑)一 強調してみまし

た。そうではなく、これは質問ですが、もしあなたの対応が次のようなものだったら、その状況、その関係、その一連の状況において何が変わるでしょうか。謙虚になり、「そう私には、あなたが私に負い目のある事をしたから自分の立場を守る権利があります。でも、私はあなたを赦します。」時にそれは、口にするのに最も難しい言葉です。「私は、ゆ～私は、ゆ～、ゆ～、私は...あなたを赦します。」何が起こるでしょうか。あなたが誰かに慈悲を示し、誰かを赦し、誰かに愛を示し、彼らの前で謙虚になったら？ 夫婦の関係で話をしましょう。口論、夫婦喧嘩をしています。突っ走ります。ある牧師が言っていたように、牧師とその妻は、口論しません。激しい交わりです。だから、一進一退の口論を繰り返します。「私だって？ そっちはどうなのだ？」「自分のことを棚に上げてよく言うよ。」「そっちが謝るまで、謝らないぞ！」そして、互いに口を利かず、無視する日々が続きます。頼みますよ。もし、あなたが相手のところに行って、こう言ったらどう変わるでしょうか。「あの～あなたが正しい。ご～、ご～、ごめんなさい。赦してほしい。私が間違っていた。」英語で最も難しい3つの単語です。私は間違っていた=I was wrong 私たちは言いませんね。「両者に責任がある。そっちが間違っただけなのでは？」ダメダメダメダメ。

(自分が悪いのです)

オズワルド・チェンバースの言葉通り、

「私が不当な扱いを受けたのか、ではなく、私が不当に扱ったのか。」「まあ、そうだけど、彼らが何をしましたか知ってますか？」違う、違う、違う、違う。あなたは何をしたのですか？ あなたが何をしたのですか？ お～そういえば、私の記憶違いでなければ、神はあなたに慈悲と赦しを示されたのに、あなたはそんな風にするつもりですか？ 違います。「ごめんなさい。私が間違っていました。私に慈悲をください。赦してください。」何がどう変化するのでしょうか？ しかも瞬時に。今は、そう瞬時ではないかもしれませんが。なぜなら、それが結婚を前提とした関係なら、相手はあなたをこんな風に見るでしょう。(疑わしい顔で)「何が欲しいの？」「私の夫に何をしたの？ だって、あれは私の夫じゃない。私の夫はそんなこと言わない。どうなってるの？」他の理由がないならそうなります。相手の心を揺さぶります。「何？あなた今、自分が間違ってると言った？ あなたが自分が間違っていたと最後に口にしてから25年経ってる。すごい！」そうすると、様相が変わるんです。そして、その状況の全てが変わります。慈悲があり、恵みがあり、愛があり、赦しがあり、聖霊がその全てをご支配されます。ほら、聖霊が悲しまれる前に。今や、聖霊が入られる余地があり、聖霊が駆けつけてくださり、全てがうまくいくのです。そして、時にそれは瞬時です。何が変わるのか？ ただ慈悲と赦しを示すだけで。お立ちください。カポノは上がってきてください。

主よ、これは...(苦笑)主よ、あなたは私の心をご存知です。私は最善を尽くしました。主よ、ここから先は聖霊の御力で、私たちの生活や人間関係で現実になるようにしてください。私たちは、あなたから正にそのような慈悲を受けたのです。あなたは私たちにとっても慈悲深いお方です。

主よ、あなたが慈悲深いように私たちは慈悲深くなり、あなたが私たちを赦したように赦し、あなたが私たちを愛して下さったように愛したいです。

主よ、今、聖霊がこれを持って、そのプロセスを開始下さることを祈ります。私たちの生活にそれを働かせて適用する、内側からのプロセスを。主よ、厳しくともあなたの御言葉に感謝します。私たちは聞きたくないかもしれませんが、今日、これを聞く必要がありました。今日、これを聞く必要がありました。主よ、あなたの憐れみに感謝します。主よ、憐れみ深いあなたのように私たちはなりたいのです。イエスの御名によって。アーメン。



---

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7